

公開文書

「再発難治性末梢性 T 細胞リンパ腫に対するニボルマブの有効性の検討：医師主導臨床第Ⅱ相治験」附随研究に参加された患者さんおよびそのご家族の方へ

検査測定機関の変更について

2019年11月27日より当院で実施されている、臨床研究：「再発難治性末梢性 T 細胞リンパ腫に対するニボルマブの有効性の検討：医師主導臨床第Ⅱ相治験」附随研究において、研究検査の測定機関が下記の表のように変更になります。

実施検査一覧

検査項目	詳細	検体	測定機関	検査時期
1. 遺伝子および蛋白発現	1)RNA 発現解析	FFPE 検体 (未染スライド)	九州大学	初診時、および再生検が行なわれた場合は再発時
	2)蛋白発現解析		久留米大学	
			九州大学	
2. 遺伝子変異検査	コントロール	口腔粘膜	九州大学	ニボルマブ治療前
	組織検体	FFPE 検体	スタンフォード大学	初診時、および再生検が行なわれた場合は再発時
	cfDNA	全血	スタンフォード大学	ニボルマブ治療前、サイクル 7、13、20、26、33、39、52、中止時。
3.リンパ球サブセット解析		全血	九州大学	ニボルマブ治療前、サイクル 7、13、20、26、33、39、52、中止時。
4. 網羅的血中サイトカインおよびケモカイン測定		血清	九州大学	ニボルマブ治療前、サイクル 7、13、20、26、33、39、52、中止時。
5.HLA 遺伝子検査		全血	HLA 研究所	ニボルマブ治療前
6.シングルセル解析		生腫瘍検体	九州大学	再生検が行なわれた場合は再発時

この変更に伴い、一部検体が日本国外のスタンフォード大学(アメリカ)に提供されることとなります。

[連絡先・相談窓口]

問い合わせがある場合は、下記の連絡先までお申出ください。

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 血液内科 山本 豪

住所：東京都港区虎ノ門2丁目2番2号

電話：03-3588-1111

FAX：03-3582-7068